



第1回 新校章検討委員会

第4回福岡女子高等学校 新校名・校章検討委員会

日時：令和8年2月20日（金）
10時00分～11時00分

～会 議 次 第～

1 議 事

- (1) 校章に関する基本的な考え方
- (2) 市立学校での校章検討事例【資料1】
- (3) 校章デザイン作成に向けた検討について【資料2】
- (4) 今後のスケジュール

2 連絡事項

○第2回開催について

日程：令和8年5月（予定）

会場：福岡女子高等学校（予定）

議事：デザイン案についての意見交換・決定方法の検討

(1) 校章に関する基本的な考え方

①校章とは

「校章(こうしょう)」とは、学校を象徴する記章であり、学校への所属を表すとともに、他校との識別のために用いられます。学校設置の要件として校章を準備する旨の法規等は存在しませんが、慣習的に学校には同じ学舎で目的を一つとして学習に励むものの心の繋がりを高めるために校章があるとされています。

②校章デザインへの意味づけ

市立小中学校の「校章」は学校名やその学校が目指す教育目標を具象化したものや、小学校では、入学時のシンボルであるさくらの中に校名をデザインしたものなどが多くみられます。

(2) 市立学校での校章検討事例【資料1】

(3) 校章デザイン作成に向けた検討について【資料2】

①校章の方向性(イメージ)

(例)・新校名に込められた思いにそったデザインとする。

・現在の校章を継承したデザインとする。

※校章に使用する文字(校名の全部・一部など)については、特段の定めはありません。



現在の校章

②作成者の考え方について

(4) 今後のスケジュール

回	実施時期(予定)	内容(予定)
第1回(今回)	令和8年2月	校章デザイン作成に向けた検討
第2回	令和8年5月	デザイン案についての意見交換・決定方法の検討
第3回	令和8年6月	最終決定

○市立学校での校章検討事例

事例	決め方	作成者
周船寺中学校 (令和8年4月開校)	①作成候補者を開校準備委員が推薦 ②協議の上、作成者を決定 ③元岡中生徒へ校章に表したいイメージについてアンケート実施 ④作成者よりデザイン案の提案 (13候補案) ⑤開校準備委員会で最終決定	望月恵里子氏 西都小PTA副会長として学校運営や地域活動に貢献。
城浜高等学園 (令和7年4月開校)	①作成候補者を開校準備委員が推薦 ②協議の上、作成者を決定 ③作成者よりデザイン案の提案 (8候補案) ④開校準備委員会で最終決定	博多工業高校インテリア科、画像工学科、美術部の生徒(8名)
照葉はばたき小学校 (令和6年4月開校)	①作成候補者を開校準備委員が推薦 ②協議の上、作成者を決定 ③照葉北小児童へ校章に表したいイメージについてアンケート実施 ④作成者よりデザイン案の提案 (20候補案) ⑤照葉北小の児童にデザイン案(7案)についてアンケート実施 ⑥開校準備委員会で最終決定	牧敦司氏 (株)醇建築まちづくり研究所所長。専門は「まちづくり」で、住宅設計やデザイン企画業務を行っており、アイランドシティ地区の住宅設計にも携わる。

○校章の意味

事例	校章の意味・コンセプト	校章
周船寺中学校 (令和8年4月開校)	<ul style="list-style-type: none"> ・周船寺の地名の由来といわれる大宰府の役所“主船司”があった時代に因み、遣唐使船をモチーフとしている。 ・帆に「中」の文字。波のように配置された2つのS(周船寺小、西都小)。 	
城浜高等学園 (令和7年4月開校)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が福岡市東区にあるので、東区の春の花である「ナデシコ」をモチーフにした。 ・5枚の花びらは、学校教育目標にある「協同性」「自主性」「自立」「可能性」「社会貢献」の言葉を意味している。 ・花びらの3つのギザギザは、校訓である「健康」「自立」「協同」の3つの言葉を意味している。 ・中心の星は、生徒一人ひとりが将来、自立し、輝いてほしいことを意味している。また、「高」の文字と重ならないように上下逆さまにしている。 ・花びらや星は全体的にバランス良く見えるように長さを同じにしている。 	
照葉はばたき小学校 (令和6年4月開校)	<ul style="list-style-type: none"> ・照葉小中学校・照葉北小学校の校章を継承した。 ・2つの羽で「はばたき」を、円は地球、円の周りの9つの模様はペンを表し、9年間の学びの姿を表した。 	

新校名（案）検討の経緯

新校名（案）につきましては、校名検討委員会における検討を経て、「福岡市立福岡共創高等学校」を選定しており、令和8年3月議会にて条例改正案を提出予定です。

時期	手順	協議者	内容
7月3日	第1回校名検討委員会 選考方法等確認	検討委員全員	●委員長の決定。校名検討の進め方、趣旨の確認。
7月4日 ～ 7月23日	校名候補募集	学校 保護者 同窓会 地域	●学校（生徒・教職員）、保護者、同窓会、地域から 校名候補を募集。 ※校名候補募集 { ・インターネットにて募集 ・紙にて募集（公民館、同窓会事務局）
8月上旬	候補選出	学校 保護者 同窓会 地域	●学校・保護者・同窓会・地域ごとに協議し、 各区分3程度の候補を選出。・校名候補151件
8月29日	第2回校名検討委員会 校名（案）選出	検討委員全員	●提出された候補の中から、校名（案）を5つ選出。 ※寄せられた校名候補は全ての委員にて供覧 ※各校名（案）について「呼びやすさ」「発音しやすさ」 「親しみやすさ」「覚えやすさ」「既存の学校の名前と似 ていないか」「商標登録とかぶっていないか」
9月16日 ～ 9月30日	意見募集	（市民に対し て募集）	●意見募集 ・インターネット（回答フォーム）、メール FAXにて募集 ・市民意見375件
10月28日	第3回校名検討委員会 校名（案）選定	検討委員全員	●校名（案）を最終選定 ※市民意見募集の結果を参考にして、校名（案）を2つ選定
11月～12月	教育委員会会議・議会		●新校名（案）として「福岡市立福岡共創高等学校」を報告
3月	議会・条例改正	福岡市議会	●条例改正を行い、校名決定（予定）